

令和5年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月15日

放課後デイサービスひだまりα

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準は満たしておりますが、ご利用人数によっては窮屈さを感じる場合があります。新たにマットを購入し、安全に配慮しつつαスペース外も活用して過ごすようにしました。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			厚生労働省の人員配置基準を満たし、尚且つその日のご利用人数に応じてスタッフを配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月末のスタッフミーティングにて、活動内容・支援内容の振り返りを行い、よりよい支援や業務改善へ繋がるよう努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、評価表を用いてアンケートを実施し、保護者の方からのご意見や要望をもとに、検討・改善を行っています。また、年2回の個別面談において直接ご意向等を伺うようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所における自己評価表、保護者等による評価表ともに、保護者のみなさまに紙面にて配布し、HPでも公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は実施しておりません。が、実習生やボランティアの方々に積極的に受け入れ意見を伺っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			救命救急講習や虐待防止研修は毎年行ってます。今年度は、外部講師による視線入力研修会の開催、「授業づくりコーディネーター」制度を活用して松戸特別支援学校での認知コミュニケーション研修会に参加しました。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回の個別面談の際にニーズや課題を伺い、放課後等デイサービスとしてできること支援方法等を保護者の方と一緒に考え、計画に反映し作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	使用していません。アセスメントは、保護者の方や関係機関担当者への聞き取り、児の体調や行動観察観察により行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数のスタッフで月1回活動ミーティングを行い、立案・計画を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月末のスタッフミーティングで活動の振り返りを行い、改善と工夫を行うことで、固定化せず楽しめるよう努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時は、放課後の時間ではゆっくり取り組むことがむずかしい身体への取組みや外出（散歩）、調理活動等を行いました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			身体のことやスモールステップ等の個別目標と、集団活動で体験できる共通した目標を組み合わせ計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	毎日決まった時間を設けてはませんが、変更や注意事項、保護者からの連絡事項等があれば、送迎出発前に周知しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	毎日決まった時間は設けてはませんが、課題や連絡事項、気付き等があった時は、時間を取って話し合いを行っています。また、申し送り事項があれば個別ファイルに記入し、全スタッフが把握できるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳や個別ファイルに、支援内容・活動の様子を記入し、定期的に振り返りを行うことで支援の検証・改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回の個別面談の際にモニタリングを行い、必要があれば計画の見直し・変更・追加を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			週替わりの集団活動(創作活動・余暇等)と、個別目標(身体への取組みや意思表示等)に沿った支援を組み合わせ活動・支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達支援管理責任者、また必要に応じて看護師も参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年度初めに学校で開催される事業所連絡会に参加しています。また、送迎時やメール・紙面にて情報を共有、確認しています。

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		主治医に、医療的ケア・緊急時対応について指示書をいただいております。連絡体制も整えています。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所への訪問や情報提供をお願いしています。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービス事業所へ情報提供を行い、また事業所職員や相談支援員による見学も受け入れています。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター開催の交流ワークショップや研修会へ積極的に参加し、助言をいただいたり意見交換を行いました。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	直接交流する機会はありませんでしたが、地域の公園や交流スペース（カフェ）等では積極的に関わりを持つようにしています。
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		子ども部会事業担当者会議に参加しています。今年度は数年ぶりに対面で参加することができ、より積極的に意見交換を行うことができました。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日のお迎え時に、当日の様子や体調などをお伝えし、またご家庭の様子等を伺うことで共通理解に努めています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		今年度は「視線入力」「卒業後の進路」について研修会（ペアレントトレーニング）を行いました。
	保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉙		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		お迎え時に直接お話しさせていただくことで、日常の些細な悩みから困りごとなどを気軽に相談していただける環境と関係を築けるよう努めています。
㉚		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度は保護者会を実施することができませんでしたが、昨年引き続き夏休みに家族参加型の花火大会は行うことができました。保護者会という形式が、保護者の方々のニーズに沿っているか検討していきます。
㉛		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		重要事項説明書に苦情対応先を記載するとともに、ご意見箱の設置を行っています。改めて周知することはしておりませんが、ご指摘やご意見に関しては真摯に向き合っていきたいと思っています。
㉜		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の活動予定や様子を、通信にて配布しています。ホームページ内のブログでも活動の様子を紹介しています。また、グループコミュニケーションアプリ「BAND」で、速やかに情報や伝達事項をお伝えできるようにしています。
㉝		個人情報に十分注意しているか	○		関係機関との情報共有、通信等への写真掲載に関する同意書を交わした上で、必要以上の情報共有のないよう個人情報の保護に努めています。
㉞		障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		一人ひとりに合わせた意思疎通方法等を伺い、コミュニケーションを取るよう努めています。気付き等があれば、お迎え時に保護者の方へお伝えしています。
非常時等の対応	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人として「笑福祭」を開催し、多くの地域住民の方においでいただきました。また「ぶるーむカフェ」にも地域の方々が多く訪れていらっしゃいます。
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応については、定期的に保護者の方に確認を取り作成、訂正を行っています。隔月のリスク管理委員会にて、感染症マニュアル等の見直しや検討を行い、職員や保護者の方に周知しています。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		事業所内で定期的に、地震・火災のそれぞれを想定した避難訓練を実施しました。また年に一度、法人全体での避難訓練も実施しています。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に一回法人全体で虐待防止研修、年三回虐待に関するアンケート及びセルフチェックを実施しました。また事業所単独での虐待防止研修を行い、日々の支援を振り返る機会を設けました。
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		安全のため、やむを得ない場合の身体委拘束については、保護者の方と話をした上で、必要な場合には個別支援計画に記載し同意を得ています。
㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無は保護者から必ず確認し、緊急時対応がある場合は医師から指示書をいただいております。	
㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		原因・問題点、再発予防策を含むヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有、リスク管理委員会にて検証、法人全体への周知を行っています。	